

表 ヤノネカイガラムシ初発生の予測(2018年)

地点	長崎	大村	島原	口之津	大瀬戸	佐世保	松浦	平戸	福江	石田	巖原	長崎 (平年値)
初発生予測日	5/5	5/7	5/7	5/6	5/6	5/6	5/8	5/8	5/6	5/8	5/9	5/8
前年予測日	5/6	5/7	5/7	5/6	5/7	5/6	5/8	5/8	5/6	5/8	5/9	5/7
IGR剤防除日	5/30	6/1	6/1	5/31	5/31	5/31	6/2	6/2	5/31	6/2	6/3	6/2
有機リン剤防除日	6/14	6/16	6/16	6/15	6/15	6/15	6/17	6/17	6/15	6/17	6/18	6/17
標高(m)	27	3	9	10	43	4	5	58	25	26	4	27

注1: 方法は「果樹防除適期判定システム(ヤノネカイガラムシ)」を使用した。

注2: 初発生予測日は気象庁アメダスの気温データ(1月1日～4月30日)を用いて算出し、防除適期はIGR剤で初発日の25日後、有機リン剤で40日後とした。

注3: 同一地区内でも、山間部では防除適期が遅れることがあるので注意する。